２０２１年度
横浜女子短期大学
教員免許状更新講習
募集要項

（2021年7月5日版）

１．主な受講対象者

・修了確認期限または有効期限が令和４年（平成３４年）３月３１日、または令和５年（平成３５年）３月３１日の方で以下のいずれかに該当する方

幼稚園教諭・認定こども園で勤務する保育教諭・認可保育所で勤務する保育士・
幼稚園を設置する者が設置する認可外保育施設で勤務している保育士・
過去に幼稚園教諭として勤務経験のある方・幼稚園教諭として採用が決まっている方

・修了確認期限または有効期限が切れている方で以下のいずれかに該当する方

過去に幼稚園教諭として勤務経験のある方・幼稚園教諭として採用が決まっている方

※詳細は文科省のホームページ参照　http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/

※園長等により受講対象者であることの証明が必要です

２．申込のながれ

本人→短大 ネット申し込み → 短大→本人 完了メール受信 → 本人→短大 受講申込書・アンケートを短大へ郵送 → 短大→本人 受講票・振込用紙等受取 → 本人→短大 受講料振込 → 講習スタート

３．日程

区分	対面授業	通信教育
受講者募集期間）	受付中	
受付完了メール送付	３営業日以内に送信	
受付完了者のみ受講申込書・アンケートを本学に郵送（２週間以内）	受付完了メール受信後、２週間以内	
書類・振込用紙を本学から郵送受取	受講申込書・アンケート到着後に本学より送付	
振込用紙で受講料を振り込み	振込用紙到着後、２週間以内	
受講日	本学に来校し、受講	9月1日よりブルーレイディスク・資料・試験問題を送付
履修認定	最後に受講した日から２か月以内にまとめて発送	11月30日までに発送

４．時程（対面授業）

受付９：００～　講習９：１５～１６：２０　受講者評価書記入など１６：２０～３０

持ち物などの詳細は、後日メール連絡いたします。

※国・神奈川県・横浜市などからの中止要請などがでた場合、ブルーレイディスクの郵送による通信教育、または延期となる場合があります。あらかじめご了承ください。

５．履修方法

・通常は本学の今年度の講習から必修領域講習１日（６時間)、選択必修領域講習１日（６時間)、選択領域講習３日（１８時間）を選んで合計３０時間で教員免許状更新講習を修了します。対面と通信を組み合わせても構いません。

・昨年度や来年度の本学講習や他大学などの講習と組み合わせることにより、必要な講習のみを受講することもできます（必修領域講習、選択必修領域講習、各選択領域講習は、それぞれの認定もできます）

・昨年度、本学の更新講習を受けた方は、昨年度と同じ内容を含む講習を受講することは出来ません。内容をご確認下さい。

６．申し込みについて（先着順）

・インターネットで申し込みを受け付けます。（電話やＦＡＸでは受け付けません）

申し込みサイト　https://forms.gle/fggbbvDCtKjQHGXN6

・インターネットでの申し込みが困難な場合は、メールで受け付けます。

必要事項をメールにてお送り下さい。メール本文には必要事項のみ入力し、半角カンマ「,」で区切って下さい。

メール宛先 koushin@yokotan.ac.jp　　メールタイトル「更新講習予約」

本文　氏名（漢字）,氏名（ふりがな）,住所,生年月日(西暦),勤務先園名,携帯電話番号,
希望講習名を記載してください。例「必修・選択必修・選択Ａ・選択Ｂ・選択Ｃ」
「通信必修・通信選択必修・通信選択Ｃ・通信選択Ｄ・通信選択Ｅ」など

本文例

横浜　花子,よこはま　はなこ,234-0054横浜市港南区港南台4-4-5,1970/01/01,横短幼稚園,09000000000,必修・選択必修・選択Ａ・選択Ｂ・選択Ｃ

白峰　育子,はくほう　いくこ,234-0054横浜市港南区港南台4-4-5,2000/11/11,白峰幼稚園,08000000000,通信必修・通信選択必修・通信選択Ｃ・通信選択Ｄ・通信選択Ｅ

・申し込みが完了した方には、３営業日以内に受付完了通知をメールいたします。

・メールを受け取りましたらＡ４用紙に印刷し記入済みの「受講申込書1ページ目と2ページ目」と「アンケート」を２週間以内に指定住所に郵送して下さい。（受講申込書2ページ目には、勤務園の公印での捺印が必要となります）

・「受講申込書」と「事前アンケート」を受付後、振込用紙などを郵送します。

・振込用紙などを受け取り後、２週間以内にお振り込みをいただければ手続き終了です。

７．受講料

１講習６，０００円（対面・通信共通）

受講料は本学指定の銀行に本学指定の振込用紙の他、ＡＴＭ、インターネット等での振り込みとなります。振込手数料は各自負担でお願いいたします。振込用紙到着後、２週

間以内にお振り込みください。

８．アクセス

ＪＲ京浜東北・根岸線　港南台駅　徒歩５分

・自動車での来校は厳禁です。港南台駅から徒歩５分のため公共交通機関を利用して下さい。

９．その他

・施設内は全面禁煙です。昼食はお弁当持参または周辺商業施設をご利用下さい。

・お問い合わせは原則メール「koushin@yokotan.ac.jp」でお願いいたします。電話の場合、平日9:00～17:00に教学課(045-835-8107)までお願いいたします。

１０．講習内容

講習の名称	講習の概要	担当講師
【選択Ａ】 横浜女子短期大学 選択領域講習Ａ ７月３１日（土） ・対面定員６０名	前半：“あそびうた”から保育の総合性を探る あそびうたのルーツは「わらべうた」です。時代や文化と共にわらべうたは変化してきています。あそびは自由で、たのしく、心が満ちあふれるものです。そのあそびうたという１つの教材から子どもの主体的な活動へと導き出す保育の総合性を共に探りたいと思います。 後半：幼稚園における子育て支援 幼稚園における子育て支援の意義や、保護者支援についての理解を深め、幼稚園教諭として適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。また、実際の事例を取り上げながら、幼稚園教諭として幼児の生活全体が豊かなものとなるためには何ができるのかを考える。 試験の方法：筆記試験と実技考査	前半 二階堂　邦子 （本学元教授） 後半 鵜野澤　武美 （本学専任講師）
【選択Ｃ】 横浜女子短期大学 選択領域講習Ｃ ８月１８日（水） ・対面定員８０名 9月1日～１０月３１日 ・ブルーレイディスクの郵送による通信教育定員５０名	前半：幼児期の健康～運動あそびの指導と援助 幼児のからだとこころの発達と健康についての現状や問題点を理解し、子どもが「多様な動作」を身につけていくために必要な保育を実践的に学ぶ。 後半：自他の価値観の相違を理解する 自己の価値観の特徴や他者の価値観との差異を再認識することをもとに、教育者としてのコミュニケーション能力の向上を図ります。これを通して、日々の保育・教育実践や保護者支援、ティーム保育実践の質の向上を目指します。 試験の方法：筆記試験	前半 堀内　弓子 （本学教授） 後半 石山　直樹 （本学専任講師）

【選択必修】 横浜女子短期大学 選択必修領域講習 ８月１９日（木） ・対面定員８０名 9月1日～１０月３１日 ・ブルーレイディスクの郵送による通信教育定員１００名（増員）	前半：学校における危機管理上の課題 園における危機管理上の課題には、どのような事が考えられるのでしょう。①火事、地震、台風等による災害、②交通事故や侵入者による被害、③保育中の怪我や病気、④情報の漏えい等があります。園のあるべき姿、一人ひとりの保育者が出来る事は何かを学びます。 後半：学校を巡る近年の状況の変化 「３法令の改訂」、「幼児教育無償化」等、幼児教育をめぐる大きな流れの変化の中で、「保育の質」をどのように高めていけばよいのかということは重要な課題です。「主体的・対話的・深い学び」の実践とは具体的にどのようなものか。また、保育の質を高めるための保育者個人の実践、園での協働のあり方について。さらに保育の評価について学びたいと思います。 試験の方法：筆記試験	前半 佐野　眞弓 （本学教授） 後半 本田　幸 （本学准教授）
【必修】 横浜女子短期大学 必修領域講習 ８月２０日（金） ・対面定員８０名 9月1日～１０月３１日 ・ブルーレイディスクの郵送による通信教育定員１００名（増員） ※下記の選択講習Ｆと同日開催の為、同時に選ぶことは出来ません	幼児教育をめぐる近年の状況の変化，国の教育政策・教員としての子ども観についての省察 国の教育政策や世界の教育の動向、教員としての子ども観、教育観等についての省察、子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見、子どもの生活の変化を踏まえた課題等について講義を行う。幼児教育に関する国の政策動向を概観・整理し、その現状と課題を考察する。また、教員･保育者に対する社会からの要請について、近年の状況変化を踏まえながら考察し、教員・保育者の今日的役割について考察する。また、発達心理学や認知科学・脳科学の最新の知見を基に、子どもたちの発達を支え主体的な学びを促すための適切な援助方法について学ぶ。 試験の方法：筆記試験	前半 岡本　眞幸 （本学教授） 後半 細野　美幸 （本学非常勤講師・鎌倉女子大学短期大学部准教授）
【選択Ｆ】 横浜女子短期大学 選択領域講習Ｆ ８月２０日（金） ・対面定員３０名 ※上記の必修講習（対面）と同日開催の為、同時に選ぶことは出来ません	前半：描画材料の種類と描画の技法の実践 子どもの発達段階に沿った、描画材料や技法について学び、技法のねらい・目的についても再確認します。また、保育の中で展開できるように後半で応用として技法を活かした作品をつくります。 後半：素材を活かして楽しく作品作り 保育者は、保育技術をしっかりと身につけレパートリーを広げることが、大切だと思います。午前中に学んだ造形技術法を活かし、昔から伝わる玩具を身近な材料を使って作ってみましょう。 試験の方法：筆記試験	前半 兼子　真理 （本学専任講師） 後半 滝口　節子 （本学准教授）

【選択Ｄ】 横浜女子短期大学 選択領域講習Ｄ ８月２１日（土） ・対面定員８０名 9月1日～１０月３１日 ・ブルーレイディスクの郵送による通信教育定員５０名	前半：幼稚園における子ども虐待への対応 ①子ども虐待への早期発見の法的根拠、子ども虐待の兆候、通告義務などについて理解を深める。②子ども虐待が発生した場合の関係機関との連携について学ぶ。③レジリエンスの視点を紹介し、虐待を受けた子どもの回復する力をどのように促進することができるのかを考える。 後半：幼児期の健康　～多様な動きを引き出す運動あそび～ 以下の３点をポイントに展開する。 ①幼児自らが体を動かす楽しさを実感できるような指導法　②運動の種類や動きの多様性に焦点を当てた、遊びの環境構成　③「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」とくに、「健康な心と体」について 試験の方法：筆記試験	前半 スティーブン・トムソン （本学准教授） 後半 佐久間　博子 （本学准教授）
【選択Ｂ】 横浜女子短期大学 選択領域講習Ｂ ８月２３日（月） ・対面定員８０名 9月1日～１０月３１日 ・ブルーレイディスクの郵送による通信教育定員５０名	前半：子どもの環境における学びと支援 提示した自然に関する実践事例での学びや、受講者が学内外の自然に直接触れる体験を通して、子どもが自然環境から学ぶことや援助、環境構成の意義を学ぶ。 後半：2030年の社会に向けた国の教育の行方を探る 中教審答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」（平成28年12月）を再読しながら今後の教育の動向を考察する。 試験の方法：筆記試験	前半 平澤　順子 （本学専任講師） 後半 岡本　眞幸 （本学教授）
【選択Ｅ】 横浜女子短期大学 選択領域講習Ｅ ８月２５日（水） ・対面定員８０名 9月1日～１０月３１日 ・ブルーレイディスクの郵送による通信教育定員５０名	個別の配慮が必要な子どもと保護者 主として、子どもの命をめぐる問題を取り挙げたい。女性の生き方の変化に伴い、子どもを育み育てる女性の生き方が変化してきている。妊娠出産に関わる女性特有の健康、病気をもつ子どもについて理解することで、子どもの保護者理解につながり、子育て支援・保護者支援に活かせる可能性がある。命を取り巻く環境や実際を理解することで、子ども理解と保護者理解を深め、主として身体的な問題を持つ子どもの個別な配慮について考察する。 試験の方法：筆記試験	渡邊　悦子 （本学専任講師）
【選択Ｇ】 横浜女子短期大学 選択領域講習Ｇ ７月１０日（土） ・対面定員１０名	前半：初学者・初心者へ向けて、幼児教育における歌伴奏の技術習得 現在、ほとんど歌伴奏をされていらっしゃらない方へ向けて、易しい楽譜を用いながら童謡の伴奏を身に付けます。子どもたちと楽しく過ごすための一助となる	前半 篠原　万喜子 （本学教授） 後半

※受付終了	よう願っています。チューリップ・ぶんぶんぶん・ぞうさん他　10曲程度の中から数曲選択。事前に簡易楽譜を郵送いたします。 後半：簡易伴奏・器楽指導 弾き歌いが容易になる為の伴奏法を習得します。電子ピアノを使用しヘッドホンで個々に確認できる環境が用意されています。また、保育の現場で使われている楽器の扱い方を習得し、保育楽器を用いたアンサンブルの和音及びベースラインの付け方、リズム楽器等の編曲法を学習します。楽器は本学の楽器を使用できます。 試験の方法：筆記試験と実技考査	横森　弘之 （本学教授）